波多見っ子

学校便り　令和５年７月号
呉市立波多見小学校

自分の命は自分で守ること

６月５日（月）火災に関わる避難訓練を行いました。実際に，消防隊員の方から，消火器を使った消火活動についてレクチャーをしていただき，その後，各学級の代表２名ずつが，消火の体験を行いました。

また，７月３日（月）には，水害に関わる避難訓練を行いました。いわゆる「垂直避難」と呼ばれるもので，水害に関わる緊急の対応として，全校児童が校舎の３階に避難するといったものです。

その後，７月６日の西日本豪雨災害のことや水害への対応について，考える時間をとりました。

このこのような訓練は，一定期間を空けてから，何度も繰り返し行うことが大切です。日頃から防災に関わる意識を高く持ち，様々な場面を想定しながら，どこに避難をすれば良いのかをご家庭でも共有していただきたいと思います。また，起こりうる様々な場面を想定し，「自分の命は自分で守ること」についても，引き続き，子供達に考えさせていきたいと思います。

６月５日避難訓練（火災）

消防隊員からの話を聞く児童

消火の体験をする児童

７月３日避難訓練（水害）

水害への対応について考える児童

３階に垂直避難をする児童

呉市消防局の方から，救急法の講習を受ける教職員

水産試験場を見学する第５学年児童

今年度，初めての水泳指導

校長のつぶやき

今年度になり，学校でも地域でも，すべての行事が復活しています。うれしいことではあるのですが，子供達とっては初めての行事もあり，そのことに，戸惑いや不安を感じている子もいます。これは，子供に限らず，私達大人も同様です。おそらく，世界各地で同じ思いをしている人が大勢いると思います。

今の私達にできることは，目の前にある一つ一つのことを着実に履行していくことだと考えます。地域や保護者の皆様の協力を得ながら，波多見小学校は一つ一つ前進していきます。どうぞよろしくお願いします。

また，夏休みあけには，元気な子供達の姿を見ることができることを楽しみにしています。暑い日が続きますが，皆様のご健勝とご自愛をお祈り申し上げます。